

# 山行報告書

報告書作成

2012年11月5日

山名 [山域]	三周ヶ岳 (1292m)	目的と方法	紅葉山行
登山期間	11月3日 (土)	山行形態	日帰り
参加人数	4人		

【行動記録】 == 車 -- 歩き ++ :公共交通機関 TS :テントサイトor宿泊施設 (到着時刻、出発時刻)  
刈谷ハイウェイオアシス(5:00,5:10)==1:05==大垣西IC(6:15)==1:35==池の又登山口(7:50,8:25)--1:05--幽玄の滝(9:30,10:10)--  
0:30--夜叉ヶ池(10:40,10:55)--2:30--三周ヶ岳山頂(13:25,13:05)--2:55--池の又登山口(16:00,16:15)==0:50==道の駅星のふる里  
ふじはし 藤橋の湯(17:05,19:05)==0:30==大垣西IC(19:35)==1:05==刈谷ハイウェイオアシス(20:40,20:55)解散



## 日誌

当日は全国的に晴れの予報。なのに三周ヶ岳方面の予報は雨。目的地の方角には黒い雨雲があり、道中パラパラと雨粒も落ちてきたりしていた。

夜叉ヶ池の看板に従って小道を折れて駐車場までの道は8km。アスファルトで舗装されているが陥没しているところがあったりするなかなかのオフロード。その上容易にすれ違えないほど狭い。帰る人の車とすれ違うことのないよう早い時間に設定するのが正解のようだ。事無く登山口の駐車場に着いたときには10数台の車が停まっていた。近くのトイレに行ったり準備をする間に到着したベテランチーム(?)にも会うことができた。登り始めるころには40台ほど止められる駐車場は満車に近い状態になっていた。

登山道は緩やかで木々の間を縫って作られているため紅葉に囲まれている感があった。迷うようなところはないが幽玄の滝近くまで腰を下ろして休憩するような広いところもない。しかし紅葉見ながらのんびり登っていたのでまった〜疲れは感じなかった。夜叉ヶ池の手前の岩場はロープが張ってあり、おお!!と思ったが階段状になっていて難なく登ることができた。池の周りは木道やベンチが設けられていてイモリなどの生物やまわりの風景を見ながらゆっくりできる。

池から三周ヶ岳に至る道はヤブ! のイメージしかない。足元が見にくく細い道でぬかるんでいるところもあったりなので注意が必要。山頂は想像以上に狭く看板もない。そこが山頂とわかるのは人がいっぱいなのと一等三角点が目立つから。気温4度の山頂でおおのインスタント麺を平らげ下山。またヤブ。でも稜線からの景色は良いからよしとするか。池からの下りは快適。また写真を撮ったり紅葉を愛でては足を止めるのでずいぶん時間がかかってしまった。

## 参考情報

- 登山口までの道路は一方通行で注意が必要。
- 駐車場は広く、トイレもある。
- 夜叉ヶ池から三周ヶ岳は藪! 山ガールの服装はもったいない。
- スマホアプリ「山カメラ」は使ってみる価値あり。

## 感想

国道から外れて登山口に向かう道は細くてこぼこで運転は大変。でもまわりは紅葉まっさかり。登らなくてもよいのでは? と思ったりした。でも登ってみると登るといふより歩くといふほうがふさわしい道だったけど、360度の紅葉を楽しめたし、夜叉壁はすごくカッコいいし、稜線上の池というのなかなか神秘的で、手軽に周りの山が見渡せる場所に行けるといのが素晴らしい。

夜叉ヶ池からの三周ヶ岳までの道はクマザサや小枝が背丈を越えるほど伸びている中をかき分けて進まなければならない。顔に鞭のように当たって痛いし下ばかり見ていると小枝に頭をぶつけたりする。マチコ巻にゴーグルという服装にすればよかった。2度目はないかなと思っている。

この日は曇りだったせいか肌寒くゴーツという北風の音を聞いた。冬が近くにいる気がする。やっぱり龍がいるのかもしれない。